

日本陸連科学委員会研究報告 第5巻 (2006)

陸上競技の医科学サポート研究 REPORT2005

序 文

本報告書は、2005年度に行なわれた日本陸上競技連盟科学委員会の活動の一部をまとめたものである。しかし、今年度から報告書は大きく変化した。すなわち、これまで20年以上の歴史を積み重ねてきた「陸上競技紀要」と発展的合併を行い、名称が「陸上競技研究紀要」となり、前編は研究論文を主体に、後編は従来の科学委員会報告書という形をとることになった。

本委員会の今年度の活動は、バイオメカニクス研究サポートを中心に行なわれたが、昨年につづいてインターハイ入賞者を対象にした実態調査、北海道マラソンにおける生理学的調査を行なった。また、合宿に帯同してのジュニアアスリートに関する調査を行なっているが、下肢のアラインメント計測には成果の予兆がみられるようになった。また、国立スポーツ科学センターをはじめとする国内外での合宿への帯同によるサポート活動も昨年以上に活発に行なわれた。このことは、本委員会の成果がコーチングの現場で利用され始めていることを示すものと思われる。

最後になったが、科学委員会の活動に多大なご協力をいただいた関係各位に深く感謝申し上げます次第です。

科学委員会委員長

阿江通良

2006年3月

平成17年度 科学委員会メンバー

阿江 通良 筑波大学体育科学系
松尾 彰文 国立スポーツ科学センター
杉田 正明 三重大学教育学部保健体育科
持田 尚 (財)横浜市スポーツ振興事業団スポーツ医科学センター
榎本 靖士 京都教育大学教育学部
伊藤 章 大阪体育大学
深代 千之 東京大学大学院生命環境科学系
田中 宏暁 福岡大学スポーツ科学部運動生理学研究室
鳥居 俊 早稲田大学スポーツ科学部スポーツ医科学科
飯干 明 鹿児島大学教育学部
井本 岳秋 静岡県総合健康センター
石島まり子 マダム石島株式会社
杉浦 克己 明治製菓株式会社 ザバス スポーツ&ニュートリション・ラボ
若山 章信 東京女子体育大学
石井好二郎 北海道大学大学院教育学研究科
加藤 謙一 宇都宮大学教育学部
林 忠男 日本体育大学・情報処理研究室
高松 潤二 国立スポーツ科学センター
広川龍太郎 東海大学体育学部
田内 健二 国立スポーツ科学センター
高井 和夫 文教大学
山崎 史恵 新潟医療福祉大学
法元 康二 青森県スポーツ科学センター

日本陸連科学委員会研究報告 第4巻 (2005)
陸上競技の医科学サポート研究 REPORT2004 目次

国内 GP において収集した外国人選手の疾走速度分析	90
広川龍太郎, 杉田正明, 松尾彰文, 金子太郎	
2005 スーパー陸上の 400 m 走におけるタイム分析について	92
杉田正明, 榎本靖士, 高野 進, 川本和久, 阿江通良	
男子一流 110m ハードル選手の踏切および踏切準備動作に関する バイオメカニクスの分析	95
大橋祐二, 横澤俊治, 門野洋介, 藤井範久, 阿江通良	
日本一流 400m ハードル選手のレースパターン分析	100
森丘保典, 山崎一彦, 榎本靖士, 広川龍太郎, 杉田正明, 阿江通良	
一流女子中距離選手の 1500m レース分析	104
榎本靖士, 杉田正明, 松尾彰文, 阿江通良	
女子中距離走者のレースペースと走動作 — 2005 年千葉 IH 女子 800m での小林祐梨子選手に着目して—	107
門野洋介, 阿江通良, 榎本靖士, 杉田正明	
全国高等学校総合体育大会でのサプリメント摂取状況調査	113
石井好二郎	
マラソン選手の貧血対策から鉄中毒になる健康管理上の問題	114
井本岳秋, 石井好二郎, 鳥居俊	
競歩審判員・競技者向けの国際競技会歩型判定動画資料の編集	118
法元康二, 藤崎明, 阿江通良	
走高跳の助走終盤におけるコース取りと踏切準備動作の関係	122
赤井裕明, 村木有也, 阿江通良	
競技会における一流男女走幅跳, 三段跳および棒高跳選手の助走速度分析	129
小山宏之, 村木有也, 武田理, 阿江通良, 伊藤信之	
男子棒高跳における重心水平速度変化およびポール湾曲度	144
武田理, 村木有也, 小山宏之, 阿江通良	

女子棒高跳選手の跳躍動作のバイオメカニクスの分析	147
吉原礼, 武田理, 小山宏之, 阿江通良	
2005 スーパー陸上におけるイシンバエワ選手の動作分析	151
林忠男, 小林史明	
日本一流男子槍投げ選手の技術分析	155
田内健二, 村上雅俊, 高松潤二, 阿江通良	
やり投げの投射条件, 助走速度と記録との関係	
—第11回世界陸上競技選手権大会決勝進出者と日本選手の測定結果—	159
伊藤章, 村上雅俊, 田辺 智	
日本一流男子ジュニア 400m 走競技者の	
アネロビックパワー発揮特性について	162
持田尚, 原田康弘, 松尾彰文, 高松潤二, 深代千之, 阿江通良	